

令和5年度 社会福祉法人仁多福社会

1. 経営理念
「献身・貢献」 「規律・秩序」 「努力・向上」 「縁・感謝」
2. 法人基本方針
 - 全ての人に対しその人らしさを尊重した対応を行う
 - 地域貢献
 - ・地域の課題の顕在化と解決策の提案
 - ・地域における身近な存在として日常的な相談などへの対応
 - ・緊急事態下での地域への協力
 - ・地域の伝統継承など地域活動への協力
 - 多様性に対応出来る人材の育成
 - ・多様な価値観と共存できる人
 - ・課題に気付き、解決に向けて自ら行動を起こす人
 - ・想定外の事象に柔軟に対処できる人
 - 「働きたい」と思われる職場づくり
 - ・互いを高め合い、自己実現への相互支援ができる職場
 - 感染症対策を行いながらの事業の実施
3. 法人令和5年度の重点課題
 - ① 生産性の向上（質と効率のバランス）
 - ② サテライト老人保健施設への移行計画の実施
 - ③ 保育所の今後についての検討
 - ④ 広報機能の充実
 - ⑤ 人材不足への対応（外国人材の活用等）

仁多福社会立三成保育所

< 経営理念 >

- 社会福祉法人仁多福社会の保育所は、0歳から就学前の乳幼児の最善の利益を求めるための保育（養護と教育）を行う。
- 職員は、保護者、地域社会と力を合わせ、一人ひとりの子どもの育ちをみつめ支える人として、豊かな人間性と専門性の向上に努め、高い倫理観を持つ。

< 保育理念 > 信頼 ♡ 安心 ♡ いのち

- 子どもや保護者、地域社会から愛される保育所をめざす。
- 一人ひとりの子ども達に、今ある命を大切に考えながら、よりよい未来を作り出す力の基礎を育てる。

< 保育目標 > たくましく心豊かな子ども

- 子ども達が、いのちを大切に思いながら、今を最もよく生きることができるように-
- いきいきとあそぶ元気な子ども
- みんなへの思いやりをもつ子ども
- 自然の中であそび、地域の文化や本物にふれ、豊かな感性をもつ子ども

< 基本方針 >

- 家庭保育をサポートする「養護機能」と健康等の5つの領域に関わる心情、意欲、態度などを育成する「教育機能」から構成する。
- 養護と教育の関係は安定した養護（生命の保持及び情緒の安定）のもとでないと教育は成り立たない。
- 保育の重点目標

五感を使った豊かな実の体験の積み重ね（実体験）

- ・自然に親しみ、感動体験を通して、命の尊さ、素晴らしさを感じる
- ・あそびの体験から興味関心を深める
- ・旬の食体験や地域行事への参加を通して文化や生活の豊かさを感じる

みんなの中での自分に気づく（集団的な活動）

- ・小さなふれあいを積み重ねて人を信頼できる
- ・自分を認めてもらい、自信を持って生きる
- ・友だちの気持ちを理解、共感できる
- ・決まりを守ったり、自分の気持ちを調整し周囲との関わりを深める

運動遊びをとおした心身の成長（健康な心と体）

- ・年齢に合った、手先から全身を十分に動かしながらコントロールできる力をつける
- ・成功体験から自信ややる気、やりぬく力をつける
- ・生活で必要な活動がわかり、自分でできる

【令和5年度園運営を振り返る】

経営の理念、保育理念、保育目標を基に基本方針をもち、保育に取り組む。

令和5年度三成保育所は100名定員、4月は89名でスタートし、3月には100名となり18名を小学校へ送る。就学先は三成小学校（15名）亀嵩小学校（1名）田井小学校（1名）佐世小学校（1名）。

○雲南保育協議会保育公開、園内研修で得たもの

研究テーマを「遊びこむ子どもの育成」～遊びから育む好奇心～と題し島根大学本部理事・副学長肥後功一先生を指導講師に迎え、令和5年度は3, 4, 5歳児を中心に研究を進めた。子どもが遊びこむための環境の構成と保育士の関わりについて重点を置き、子どもの姿や保育士の関わりについて研究を行った。主な環境として一年間「宮原という資源」を活かして遊びに取り組んだ。研究の成果としては、「子どもの始原の姿を引き出す環境構成、私たちが引き出すべき遊びの姿」に視点をおいて考えることができた。また、遊びこむ子どもを育成していくために0, 1, 2歳児の生活や遊びが大事だと捉え、三成の自然環境（園庭・宮原など）を活かした遊びから0, 1, 2歳児の子どもの姿や保育士の関わりを探っていくことや、「やりたい」「やってみたい」気持ちをどのように保育士が引き出したらよいかを考え今後の保育実践につなぎたいと考える。

○魅力ある園を目指して

本園は園庭周辺や園外にも魅力ある遊び場がたくさんあり、四季折々の自然の中で五感を使い豊かな体験を積み重ねてきた。職員一同も「その場所を好きになる」「こんないいことがある」と実感することが活動の充実につながると考える。地域の方にお世話になり、つながりを大切に、田畑の活動は食育にもつながる活動であり三成保育所の特色として大事にしていきたい。

○仁多子育て支援センターの取り組み

今年度は新たに母乳相談会とマタニティーサロンを計画、実施した。

ファミリーサポートセンター事業は、二年が経ちこの事業を好まれる方もでてきた。

仁多子育て支援センターを利用される在宅の方も増え、父親の参加も見られるようになり、職員ともふれあい和やかな場となっている。

○多様なニーズを抱えた保護者、子どもへの支援

医療的ケア児等対応できるよう関係機関との連携、研修、家庭への支援に努め、笑顔の多い暮らしができるように支援体制を整え、次年度の受け入れにつなぐ。

○共に支え合う職員との関係づくり

雲南保育協議会の公開保育を受けるにあたり、公開を3, 4, 5歳児クラスのみ実施した。自園の保育研究を外部へ発信するために、チームで分担する中で職員の意識を高め、準備段階や当日が円滑になるよう努めた。

○安定した経営のために

経営において基となる決算書の数字を色々な観点からみていき、今後どのように運営していけばよいかビジョンをしっかりとち将来を見据えて行動したいと考える。

令和5年度三成保育所事業報告書

保育事業

1. 入所保育事業（定員100名）

- ・養護と教育を必要とする乳幼児の保育
- ・家庭と連携をはかり、保護者が安心して就労ができ、共に育ちあう保育

クラス名	担任	年齢	児童数		職名	氏名
			R5.4.1	R6.3.31		
ひよこ	伊藤美葉子	0歳児	2名	12名	園長	石田幸枝
	川角美鶴恵				主任保育士	石原睦子
	金倉知華				副主任保育士	宇佐美見幸
	糸川千絵				子育て支援センター	坂井恵美子
りす	藤原麻衣子	1歳児	17名	13名	療育	藤原利貴
	内田広子				一時預かり	糸川千絵
	堀尾信子					川角美鶴恵
うさぎ	立石俊哉	1・2歳児	8名	12名	フリー	谷岡尚子
	西村優子				栄養士	宮崎志麻
	井上由美				調理員	陶山栄子
ぱんだ	千原聡子	2歳児	13名	14名		山田智佳子
	田中沙緒里				藤原弘美	
きりん	川西沙也加	3歳児	13名	13名	事務	山田美和子
	川西千春				第三者委員	立石典夫
ぞう	星野真利子	4歳児	18名	18名		園医
	小櫻綾子				前山昌隆	
らいおん	古井明香	5歳児	18名	18名	歯科医	太田歯科医院 高松歯科医院・奥出雲歯科
	松崎巳加					
合計			89名	100名	年間保育日数	295日

月別入所児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	2	3	5	7	7	7	8	12	12	12	12	12	99
1歳児	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	214
2歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
3歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
4歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
合計	89	90	93	95	95	95	96	100	100	100	100	100	1153
利用総数	2136	2160	2418	2375	2470	2280	2400	2400	2600	2300	2300	2500	28339

2. 特別延長保育事業(18:30~19:00)

- ・保護者の方の就労形態や家庭の事情によって対応した。
- ・長時間保育の負担にならないよう、ゆったりと心休まる雰囲気の中で保育を行った。

3. 療育事業

- ・運動面、精神面で支援を必要とする児童へサポートした。

4. 一時保育事業

- ・時々育児が困難、育児負担の解消、冠婚葬祭、傷病の緊急時に保育をした。

令和5年度 主な行事

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
園内事業	入園・進級おめでとう会 (4日) よもぎたんごづくり (12日) 尿検査・蛭虫検査 (12・16日) 保護者総会 (奉仕作業 7時～) (13日) 交通安全教室 (15日) 要香山山城祭 (28日)	蔭涼寺花まつり (8日) 子どもの日の集い (10日) 親子遠足(2歳児以上) (12・16日) サツマイモ苗植え (13日) 内科検診 (13・15日) トロッコ列車交流 (28日) プール開き (27日)	玉ねぎ収穫/夏野菜植え(わくわく畑) (8日) 歯牙健診 (8日) 親子で測定・親子参加) (5日) 七タまつり (6日)	三成愛宕祭り太鼓演奏 (24日) 奉仕作業(7時～) (26日)	元氣アップ(あそび) (4日) 祖父母の日プレゼント (13日)		
地域交流活動	椎茸狩り・植菌 (20日) 田植え体験 (18日) さつまいも植え(横谷・わくわく畑) (18日)	どんご遊び(4・5歳児) (9日) 三沢地区福祉交流会 (30日)	仁多福祉会幼児園 トトロの乗校交流会 (22日) 三沢地区福祉交流会 (30日)	夏野菜収穫 (横谷・わくわく畑) (22日) 夏野菜収穫 (横谷・わくわく畑) (19日)	三沢・亀嵩地区民運動会 (24日) 稲刈り体験 (19日)		
家庭共催にと	小・中学校入学式 (11日) 子育て教育相談 (16日)	小学校連絡会(三沢小) (18日) 個人面談 (全児・22～31日) (18日)	子育て教育相談 (10日) らいおん組あそびday (29日) うさぎ組あそびday (30日)	救急法講座 (21・27日) ぞう組あそびday (5日) ぱんだ組あそびday (12日)	子育て講演会 (協賛: 横谷・わくわく畑) (27日) 子育て教育相談 (27日)	子育て教育相談 (9日) きりん組あそびday (22日) 就学前視力聴力検査 (22日)	
園内事業	内科検診 (5・10日) 雲南保育協議会公開保育 (3日) 元氣アップ(測定) (10日) 祖父母参観日・劇団公演 (13日) 就学前健康診断 (17日) 親子運動会 (21日) さつまいも掘り (31日) 就学前スクリーニング検査 (就学前小学校にて)	元氣アップ(あそび) (1日) 交通安全・防犯教室 (2日) 収穫祭 (8日) げんきまつり (11日) げんきまつり作品展 (10～14日) 玉ねぎ苗植え (16日)	元氣アップ(測定) (6日) 餅つき (15日) クリスマス会 (22日)	新年おめでとう会 (5日) とんどさん (10日) 生活発表会(うさぎ以上) (27日)	節分 (2日) ランバイク体験 (中止) 保護者会総会 (資料配布のみ) (27日)	ひなまつり (6日) 就学前交通安全教室 (13日) 新入児健康診断・説明会 (7日) 卒園式 (21日)	
地域交流活動	三成地区文化祭 (1日) 福振協花苗植え (6日)	釜焚きご飯体験 (8日) 三沢産業文化祭 (12日)		幼小連絡会(亀嵩小) (30日)	一日入学・給食体験(亀嵩小) (17日) 各小学校1日入学 (三沢小/田井小/佐世小) (17日)	仁多中学校卒業式 (12日) 三沢小学校卒業式 (16日) 三沢小学校卒業式 (19日) 阿井・高尾・布勢小学校卒業式 祝詞送付 (26日)	
家庭と共に	クラス 23日よひより組 懇談会 24日うさぎ・らいおん組 25日ぞう組 26日ぱんだ・きりん組 りず組あそびday (25日)	個人面談 (全児・4～13日) (9日) 子育て教育相談 (9日)	ひよこ組あそびday (6日)	子育て教育相談 (17日)	子育て教育相談 (17日)		

◎月例行事 ・身長体重測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・トトロの乗校 <講師> 音楽療法士 武田千代美氏
 ◎幼児期の運動遊び…5歳児が年4回の身体づくり・運動遊びプログラムに取り組みました。 <講師> ジョイナススポーツクラブ指導員
 ◎子ども元氣アップ事業…4歳児が遊びながら体を動かすことに興味を持ち、幼児期の体力作りにつながる年5回のプログラムに取り組みました。 <講師> 鳥根県レクリエーション協会
 ◎いっしょにあそびday…保育の中で、お子さんと一緒に季節の遊びを楽しみました。 ◎施設開放日…毎週土曜日に施設内・園庭で親子で一緒に遊びました。 ◎子育て教育相談day <相談員> 鳥根大学本部長 肥後功一氏 <講師> 鳥根県レクリエーション協会

令和5年度 職員研修

全国保育協議会・日本保育協会・島根県保育協議会・島根県社会福祉協議会・その他			
月	日	研修内容	参加職員
5月	17・18日	キャリアパス対応生涯研修(チームリーダー)	藤原麻衣子
6月	14日	令和5年度中堅研修	立石俊哉
8月	8・9・10日	キャリアアップ研修(障がい児)	川西沙也加
	26日	食育推進研修会	陶山栄子
9月	2日	スキルアップ研修会	千原聡子 田中沙緒里
10月	28日	島根県保育研究大会	石原睦子
11月	1日	島根県子育て支援員研修	坂井恵美子
	22日	島根県造形教育研修:県展	古井 明香 石原 睦子
12月	20日	島根県子育て支援員研修(zoom)	坂井恵美子
1・2月	オンデマンド	保育士キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	山田美和子
1・2月	オンデマンド	保育士キャリアアップ研修(幼児教育)	宇佐美見幸
奥出雲町教育委員会・療育・特別支援・専門研修			
5・6月	3回講座	寺子屋	古井明香 星野真利子 西村優子
6月	20日	特別支援連携協議会:コーディネーター連絡会	石原 睦子
7月	26日	要保護児童対策地域協議会	石田幸枝
8月	22日	要保護児童対策地域協議会研修会	西村優子
	23日	教職員管理職合同研修会	石田幸枝
10月	5日	母子保健委員会	坂井恵美子
11月	21日	仁多郡学校保健研究協議会研修会	内田広子
	22日	保・小架け橋期の教育に係る研修会	石田幸枝 西村優子
1月	19日	後期学校訪問・三沢小	藤原麻衣子
	24日	後期学校訪問・高尾小	宇佐美見幸
	30日	後期学校訪問・三成小	西村 優子
雲南保育協議会			
総会・講演会	5月20日開催	場 所:チェリバホール 演奏会:バイオリンデュオコンサート ~本格クラシックで彩る『心ときめく感性豊かな音楽』の世界~	
施設長部会	5回開催	(所 長)	
保育士部会	3回開催	(石 原) 8月3日保育士部会研修 アナログゲーム (石原・古井)	
調理担当者部会	4回開催	(宮 崎)	
語る会	}	保育 5月23日 雲南1ブロック 島根県保育研究大会発表に向けて (石原)	
		保健 欠 席 (資料閲覧)	
		療育 6月29日 講師:長澤幸子 (糸川)	
実技研修	6月20日	運動遊び 講師:栢野和美「足育~体の土台をつくる必要性や足を使った運動遊び~」(川角・藤原利)	
	7月 6日	絵画 講師:佐々木明美先生 (欠席)	
	9月29日	絵画 講師:泉 陽子先生 (欠席)	
島根県保育研究大会	10月28日	研究発表(雲南1) 講師:梶谷朱美先生 (石原)	
公開保育	10月3日	三成保育所自園開催 講師:肥後功一先生	
	11月2日	四葉学園保育所(古井) 11月8日加茂こども園(立石)	
職員研修(仁多福祉会幼児園・園内研修他)			
*小児科医師講演会	講師:前山昌隆先生	開催なし	
*子育て講演会	講師:絵本作家 とよたかずひこ先生	8月27日	
*福祉会幼児園職員	肥後講座	4回	
	講師:肥後功一先生	馬木幼児園(立石)・横田幼児園(西村・石原)・阿井幼児園(金倉)	
*普通救命講習会	講師:奥出雲消防署	2回に分け、全職員参加	
*教育センター訪問指導研修	講師:教育センターアドバイザー	・1歳児公開保育	
●園内保育公開(全クラス)	反省会・意見交換	公開保育に向けて 講師:肥後功一先生	
●定例職員会において園内研究会議・研修報告		●人権・虐待研修	感染症流行により、研修に行けなかった。自己評価シートを使用し、振り返りを行う。
●チーフ会・以上児会・未満児会・研究会・もぐもぐ会議他			

今年度受けた苦情

0件

苦情受付：主任 石原睦子
苦情受付責任者：園長 石田幸枝

お子様を保育する中で、保護者の方から送迎時の安全について、お子さんが怪我をした際のお伝えの仕方について、朝の受け入れ時の対応について、園行事の内容について等、お子さんの保育所生活が安全でよりよいものになるよう、いろいろなご意見、ご要望をお寄せいただきました。

その都度、主に職員会を重ね、解決の努力をしました。保護者の皆様から頂いた一つひとつのご意見やご要望を保育の質を高めるためのご助言として受けとめ、職員一同、より高い質の保育の向上に努めさせていただきます。

<解決方法>

- 連絡帳で回答し、理解してもらった。
- 園長・主任・担任が協議、解決した。
- 苦情解決責任者(園長)が個別に解決した。
- 職員会で協議し、保育の見直しを図った。

*今年度いただいた内容については、園内で解決できましたが、第三者委員へ全て報告を行いました。

仁多福祉会幼児園第三者委員 立石 典夫 吉川しのぶ

<苦情を受けての反省・今後の取り組みとして>

- 子どもの心によりそえる保育の専門性の向上に努める。
- 職員の他方面にわたる資質向上の研修を重ねる。
- 行事の見直しや検討をする。
- 日頃から家庭へ保育の様子が伝えられるように努める。

令和5年度 仁多子育て支援センター事業報告書

(1) 相談事業

○子育てや保育、教育に関する相談を受けた

○相談員 島根大学本部 理事・副学長 肥後 功一 ○三成幼稚園 園長 石田 幸枝

・教育相談日 4月15日・6月10日・9月9日・11月18日(中止)・12月9日・2月17日 10件

・おたより帳、電話、面接等相談 6件

(2) 土曜日施設開放保育

○幼稚園の保育室、園庭を開放し、地域の親子に利用してもらった。

その間、保育士が子育て中の父母、祖父母の話を聞いたり、相談を受けたり、保育のアドバイスを行った。

土曜施設開放・参加保育各月 あそびのテーマ

月	あそびの内容	土曜開放	参加保育	月	あそびの内容	土曜開放	参加保育
4月	「春がいっぱい」 「元気にお外であそぼう！」	0組	0組	10月	「からだを動かしてあそぼう」 「元気にお外であそぼう」	0組	0組
5月	「こいのぼりを作ろう」 「春のおさんぼたのしいね」	0組	0組	11月	「秋のおさんぼ楽しいね」 木の奥木の葉であそぼう」	1組	1組
6月	「小麦粉粘土で遊ぼう」 「砂や水に触れて遊ぼう」	0組	0組	12月	「クリスマス飾りをつくろう」 「ごっこあそびをしよう」	1組	0組
7月	「砂や水に触れて楽しく遊ぼう」 「たなばたかざりを作ろう」	0組	0組	1月	「お正月遊びをしよう」 「雪遊びをしよう」	2組	0組
8月	「水といっぱいあそぼう」 「プールであそぼう」	0組	0組	2月	「鬼ごっこをしよう」 「木のおもちゃであそぼう」	1組	0組
9月	「色水あそびを楽しもう」 「みんなで運動会ごっこをしよう」	1組	0組	3月	「おひなさまをつくろう」 「春をみつけよう」	0組	0組

(3) 参加保育

○乳児室、各保育室、遊戯室など年齢に応じた部屋で、地域の親子が同年代の子ども達と一緒に過ごされた。

(4) 子育て保育室“どんぐり”

○年間通して音楽療法「トトロの楽校」、助産師による「母乳相談会」「マタニティーサロン」、管理栄養士による「離乳食教室」、3B体操、産後ケアの指導を取り入れ在宅の親子に楽しんでもらった。

(5) 出前保育“どんぐりっこすくすく”

○手作りおもちゃなどを持って出かけ、スタッフが中心になってあそびの場を提供する。

○手あそびやふれあいあそびを一緒にしたり、子育ての相談を受けた。

	場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出前保育	布勢	2組	0組	3組	1組	2組	1組	1組	1組	2組	中止	1組	2組
	センター	5組	2組	7組		2組	3組	4組	4組	3組	1組	6組	
	阿井	3組	4組	0組	1組	2組	2組	0組	2組	中止	1組	2組	0組
	亀嵩	2組	2組	1組	2組	1組	1組	0組	0組	0組	0組	0組	0組
	合計	12組	8組	11組	4組	7組	7組	5組	7組	5組	2組	9組	2組
子“どんぐり” 育て保育室	トトロ		5組		6組		8組		2組		8組		8組
	産後ケア	7組		4組		4組		2組		8組			7組
	離乳食				4組				3組				
	いっしょにあそぼ		4組		4組	4組	5組		4組		5組	5組	
	マタニティー			3組									
	母乳相談会									4組			4組
	合計	7組	9組	7組	14組	8組	13組	2組	9組	12組	13組	5組	19組

○出前保育

年間

44回

延人数

79組

○すくすくこどもの日

10組

○子育て保育室“どんぐり”

年間

24回

延人数

118組

(6) “どんぐりる～む”の充実

- 子育て中の親子や仲間同士が気楽に来て、一緒に遊んだり子育ての悩みや情報交換など話せる場を提供した。
- 家庭にはない大型の遊具や手作りの布おもちゃなど、子どもの年齢や発達に沿ったおもちゃを常時配置し、自由に使い遊べる場作りをした。
- 親や仲間同士、ほっとくつろげる場として充実させ、子育てのひとときを楽しんでもらった。

○“どんぐりルーム” 年間利用人数 52組

(7)まつり・つどい

日時	内容	人数
5月12日	すくすくこどもの日	10組
7月7日	すくすく七夕会	3組
7月22日	救急法講座	3名
10月13日	おはやし劇場だだすこだんだん	100組
10月17日	おくいずもすくすくうんどうかい	14組
11月24日	子育て講演会	8組
12月8日	すくすくクリスマス会	14組
合計		152組

(8)支援事業

- 乳児健診・1歳6ヶ月健診・3歳児健診へスタッフを派遣し、健診のサポートを行った。4、5ヶ月、7、8ヶ月児健診時には“ふれあいタイム”を設け、個別に親子での触れ合い遊びを指導した。
- ミニ療育支援
 - ・親子で遊べる場の提供や、あそび方を指導した。
 - ・子育て、障がい、教育等の不安や悩みが話せる場作りをした。
- チャイルドシートの貸し出し
- 絵本の貸し出し

(9)子育て情報誌

- 「奥出雲子育て通信」を12回発行した。
- 「たけのこ」を発行した。(3月)
- 「すくすくどんぐりだより」を発行した。

(10)おくいずもファミリーサポートセンター

- 子育ての手助けをしてほしい人とお手伝いしたい人が会員となり、育児の相互援助活動を地域で行う会員組織。

会員数	34名
おねがい(依頼)会員	20名
まかせて(援助)会員	10名
どっちも(両方)会員	4名

幼稚園・小学校の送迎・預かり	4件
放課後児童クラブの送迎	0件
子どもの習い事の送迎	0件
その他	0件
合計	4件

一時保育事業

○時々育児が困難・育児負担の解消、冠婚葬祭、傷病の緊急時、同年代の子どもとの触れ合い等のため保育を受けた。

一時保育年間利用状況 (1日 1500円)

(延人数)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0才児延人数	0	0	6	2	1	5	9	9	10	10	9	18	79
1才児延人数	0	0	0	3	0	0	0	1	1	9	0	0	14
2才児延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3才児延人数	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
4才児延人数	0	0	4	14	1	0	0	0	0	0	0	0	19
5才児延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延人数	0 0	0 0	22 22	19 41	2 43	5 48	9 57	10 67	11 78	19 97	9 106	18 124	124
利用日数	0	0	14	15	2	5	9	10	10	15	9	12	101
一日平均	0	0.0	1.5	1.2	1	1	1	1	1.1	1.2	1	1.5	1.2

令和5年度 みざわ児童クラブ事業報告

《 理念 》

「みざわ児童クラブ」は授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全な育成を図ることを目的とします。家庭的なくつろいだ雰囲気作りに努め、心地よい自分の居場所を見つけて、お互いが助け合い、学び合い、考えを出し合いながら活動します。また、地域の人とのふれあいを通して心を育て、元気と笑顔のあるクラブを目指します。

《 活動内容 》

- 指導員と一緒に時間を決めて、宿題や復習、自主学习を行った。
- 自由活動の時間には、自分たちで遊びを見つけたり、考えたりしながら楽しく過ごした。
- 休校日や長期休暇には、新型コロナ対策をしながら出来る範囲での体験活動を行った。
 - ・三沢の散策、探索活動。
 - ・壁面装飾などの製作活動。
 - ・みざわ川で遊ぶ。
 - ・バス等を利用して三成児童クラブスマイルさんとの交流を行う。

「みざわ児童クラブ」の1日

下校～16:00 16:00～ 16:30～17:00 17:00～18:00 18:00～18:30	「ただいま」の元気な声で帰ります。 指導員による利用確認、健康視診。検温、手洗い、手指消毒。 おやつ。 学習。 自由遊び。 清掃や片づけをして帰宅準備。順次帰宅。 希望により延長利用。
---	--

《 利用実績 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	年間利用	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	一時利用	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
	合計	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
利用数	年間利用	95	111	117	89	73	108	105	106	97	97	108	83	1,189
	一時利用	74	78	79	80	82	60	75	75	57	52	58	60	830
	合計	169	189	196	169	155	168	180	181	154	149	166	143	2,019
月平均利用数		8.5	9.5	8.9	8.5	7.8	8.4	8.6	6.8	7.7	8.3	8.7	7.1	7.1
活動日数		20	20	22	20	20	20	21	20	20	18	19	22	242
開所日数		20	20	22	20	20	20	21	20	20	18	19	22	242